

安芸地域アクションプランの主な課題

共通課題	地域のコーディネート機能 行政＝市町村、安芸広域事務組合や中芸広域連合 民間等＝商工会、JA等	資料 9
------	---	------

No.	項目	課題	室戸市	安芸市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村
1	まとまりのあるナスの産地づくり	指定産地要件を欠く恐れ(安芸市)、ナス有望品種「土佐鷹」の推進、部会・研究会等の更なる活性化	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2	ユズを中心とした中山間地域の農業振興	ユズ酢の販売戦略(県下・地域)、玉出率の向上	●	●	●	●	●	●	●	●	●
3	環境保全型農業の推進	エコシステム栽培の推進	●	●	●	●	●	●	●	●	●
4	西山きんとき芋販売促進事業	部会の更なる活性化	●								
5	土佐ジローの生産拡大と地域の活性化	地域の合意、代替候補地の選定と地権者交渉		●							
6	特産品「イチジク」による地域の活性化	奈半利町＝イチジクのイメージ再構築、栽培面積の拡大				●					
7	森林情報のデータベース化	森林境界明確化の推進	●	●	●	●	●	●	●	●	●
8	林業再生事業	森組等の施業提案能力向上と路網整備、高性能機械導入の推進	●	●	●	●	●	●	●	●	●
9	備長炭の生産・出荷・販売体制の強化	将来的には室戸市と東洋町の一元化を視野	●	●							
10	木質バイオマス活用事業	各市町村での取り組みや構想との整合と市町村間の合意形成		●							●
11	林業加工品の販売促進	販売戦略の継続検討(エコアス加工部門の3カ年で自立)、地域雇用を維持できる安定した売上額の確保(新規顧客、リピーター)									●
12	キンメダイのブランド化に向けた取組	地域ブランド化の方向性(検討材料蓄積中)	●			●					
13	スジアオノリのブランド化の取組	養殖施設の機能向上による経費節減と生産増(ブローの整備)	●								
14	低価格な定置網漁獲物の販売戦略	検討委員会による企業・漁協・行政の連携体制の強化	●								
15	新たな漁業の導入とシラス魚価等の向上	シラス再生の構想と加工業者の位置づけ・連携体制		●							
16	「加領郷」ブランドによる地域の活性化	直販所機能の拡充に向けた構想				●					
17	河川の周年利用による地域経済の活性化	漁業調整規則改正にむけた科学的根拠の蓄積と関係者間の合意形成				●			●		
18	海洋深層水の利用拡大	施設高度化への対応策	●								
19	新たな地域資源としてリュウゼツランの活用の検討	リュウゼツランの基礎的なデータをもとにした今後の展開の検討	●								
20	海の駅「東洋町」の活性化	施設の売り上げは順調に推移している。今後の展開の方向について検討中			●						
21	道の駅「田野駅屋」の機能強化(特産品開発及び情報発信)	中芸地域全体の情報発信機能を担う必要性					●				
22	体験型観光の旅行商品化と販売・受入体制の整備	各市町村での地域ガイド組織の充実とランドオペレーターを核としたネットワーク体制	●	●	●	●	●	●	●	●	●
23	地質資源を活かした交流人口の増加(世界ジオパーク認証に向けた取組)	運営組織の整備、地域ぐるみの取り組みと実績の積み上げ	●								
24	「海の駅とろむ」を核とした交流人口の拡大	運営主体と想定される漁協との調整(ダイビングの事業化)	●								
25	シレストむろとを核とした健康観光産業	シレストの運営体制(効果的な営業展開と情報発信)及び総合窓口の体制整備	●								
26	龍馬伝に関連した特産品開発や周遊ルートの確立等	一過性に終わらせない情報提供のあり方、サテライトから各地域への誘導等		●							
27	スポーツキャンプのまちづくり	閑散期の利用促進の基本的考え方		●							
28	ダイビングの受け皿づくりによる交流人口の拡大	室戸市や県一漁協の取り組みを見ながら取り組み内容を検討していく			●						
29	魚梁瀬森林鉄道遺産を活用した交流人口の拡大	中芸広域での窓口の設置(行政、民間)				●	●	●	●	●	●
30	「ふるさと海岸」を中心とする海洋資源を活用した交流人口の拡大	総合的な体験観光プログラムの構築				●					
31	体験型観光への取組 ～大野台地は、えいところ！～	大野地区の魅力の再確認、体験メニューのレベルアップ、地区外の観光(資源・メニュー)との連携					●				
32	安田川の清流資源を活かした交流人口の拡大	馬路村と安田町が一体となって流域整備や住民参加意識を高めていく仕組み、流域住民の意識、民間レベルでの取組み不足、関係団体間の連携						●		●	
33	古民家と地場産品販売施設等を活かした交流人口の拡大	活用策の検討、他の施設等との連携、地域の組織基盤が脆弱						●			
34	龍馬伝を活かした観光振興	一過性に終わらせない情報提供、中芸地域の各観光資源への誘導等							●		